

# 二年学年だより

No. 2

5月号

令和7年5月31日

201HR

## “自分の時間”が未来をつくる

2年生のみなさん、新しい学年が始まってしばらく経ちましたね。毎日をどのように過ごしていますか？ 少し時間に余裕を持って、じっくりと物事を考える時間がとれていますか？ 高校2年生は、進路に向けた準備が本格的に始まる大切な時期です。自分の未来をどう描くのか、そしてそのためにどんな力を身につけていきたいのか——そんなことを考える時間を、これから大事にしてほしいと思います。

近年、IoTやAIといった技術が進み、社会は大きく変化しています。そんな中で必要とされるのは、「自分で考え、自分で動く力」です。そして、その力を育てるために欠かせないのが“主体的に過ごす時間”であると、私は考えています。たとえば、あの有名な科学者、アイザック・ニュートン。1665年、彼が通っていたイギリスのケンブリッジ大学は、ペストの流行により休校になりました。ニュートンは実家に戻り、自分の時間をたっぷり使って考え、学び、研究を深めました。その期間に「リンゴが落ちるのを見て万有引力の法則を発見した」と伝えられています。つまり、“自分の時間”は、自分の可能性を大きく広げるチャンスなのです。今、みなさんの生活も徐々に忙しくなっています。だからこそ、私はこの1年、みなさんが進路についてじっくり考え、その目標に向けて自分に合った学び方を工夫し、主体的に学習に取り組んでほしいと願っています。それが「学ぶ力（学力）」を高め、進路実現への近道になると信じているからです。そのためには、「自由な時間＝主体的に過ごす時間」をどう確保するかがカギになります。でも、誤解しないでください。自由な時間を増やすために、課題をサボったり、勝手に欠席したりしていいわけではありません。むしろ、「やるべきこと」にしっかり取り組んだうえで、自分の時間をつくる工夫が必要です。その工夫の一つが「準備」です。たとえば、整理整頓。『知的生産の技術』（梅棹忠夫・岩波新書 1969）という本には、人間の活動のうち約7割が「探すこと」に使われているとあります。また、別の本『整理学』（加藤秀俊・中公新書 1963）では、実際に「生産活動」に使われている時間は全体の2割で、残りの8割は「連絡活動」だと述べられています。みなさんも、机に向かって勉強している“つもり”が、実はプリントを探したり、提出物を確認したりしているだけの時間になっていませんか？ 宿題に時間が足りず、ただ答えを写すだけの作業になっていませんか？ 部屋が散らかっていて、つい漫画やスマホに手が伸びてしまう・・・そんな環境にいませんか？ 「忙しい」「時間がない」と感じている人、これからそのような状況に陥りそうな人は、まずは自分の“準備の仕方”を見直してみましょう。

みなさん一人ひとりが、ゆとりある学校生活を送り、自分の時間を大切に、主体的に日々を過ごしてくれることを願っています。  
(201HR担任)

\*\*\*\*\*

修学旅行では、ふだんできない体験をしたりたくさんの「はたらく人」に出会ったりもしたでしょう。旅行で思い出したことをひとつ。何年も前、遠征の貸切バスを運転してくれたのが偶然同級生でした。運転中は話し掛けてはなりません、色々とおしゃべりをしました。運転手さんが話してくれたことです。「こないだの野球の試合、すごかったねー。〇〇〇が勝つと思ったんよ。あの子たちも乗ってくれたことがあるけど、バスの乗り方がとてもきれいなんよ。靴の泥を落として乗るし、降りるときは倒した椅子もカーテンも元に戻して床の掃除までしてくれる。応援しよったんよ。」と。もちろん勝因はバスの掃除をしたことだけではありません。負けた方も同じように良いことをたくさんしているかもしれません。人の車や建物に入るときに泥を落とす、椅子やカーテンを戻す。どれもほんの少しの心がけでできることです。学力や体力の向上や技術を磨くための毎日努力プラス、他の誰かのための行動が自然とできる人に勝ち運が寄ってくることはあると思います。(201HR副担任)